



by HARMAN

JBL HORIZON

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- ⊘ 分解してはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 触れてはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- ⚠ 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- 🔌 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

- ⚠ ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- ⊘ 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になります。
- ⊘ 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になります。
- ⊘ 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- ⊘ 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ⚠ 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 🔌 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。
- ⊘ 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- ⚠ 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- ⊘ 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- ⊘ 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になります。
- ⊘ 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になります。
- ⚠ オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になります。
- ⊘ 音が歪んだ状態で長時間使用しない。スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

注意

- ⊘ 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- ⊘ 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ⊘ ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ⚠ ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ⊘ ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- ⊘ 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- 🔌 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ⊘ 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意
 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
 ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

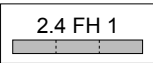
電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

電池についてのご注意

- ⚠ 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入りたり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
- 液が漏れたとき
 - 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
- 液が目に入ったとき
 - 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたとき
 - すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ⚠ 電池について以下のことに注意する。本製品のリモコンはリチウム電池を使用しています。リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
- 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
- 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
- 電子レンジや高压容器に入れないでください。
- 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

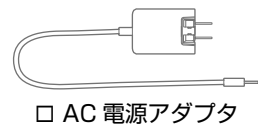
本機の特長

- ◆ 背面に LED アンビエントライトを装備。アラームとリンクして光り、穏やかな目覚めをサポートします。日時等を表示する本体前面の LCD ディスプレイは、周囲の明るさを感じて輝度が自動的に変化します。
- ◆ 2つの時間を個別にセットできるアラームクロックを搭載。アラームサウンドは、「JBL HORIZON」オリジナルトーンのほか、FM ラジオ（5局まで登録可能）、Bluetooth 対応プレーヤーの音楽などを選んで設定が可能です。

- ◆ FM ラジオチューナーを標準装備。最大5局までプリセット可能です。
- ◆ Bluetooth 対応により、スマートホン、PC、タブレットなど Bluetooth 対応機器に保存された音楽をワイヤレスで簡単に操作。
- ◆ 電力給電専用の USB ポートを2基装備。スマートホンなどの充電に便利です。

付属品

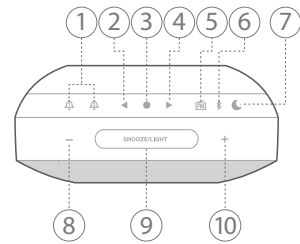
お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。



- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

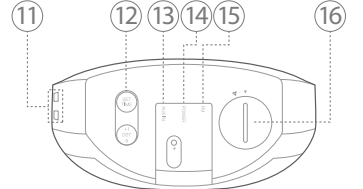
各部の名称とはたらき

▶ 本体上面



- ① / (アラーム 1/2) ボタン
- ② (選局/曲戻し) ボタン
- ③ (確認/再生/一時停止) ボタン
- ④ (選局/曲送り) ボタン
- ⑤ (FM) ボタン
- ⑥ (Bluetooth) ボタン
- ⑦ (スリープ) ボタン
- ⑧ 音量- ボタン
- ⑨ SNOOZE/LIGHT (スヌーズ/LED アンビエントライト) ボタン
- ⑩ 音量+ ボタン

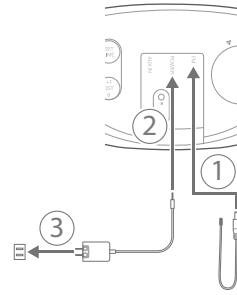
▶ 本体側面 / 底面



- ⑪ USB 端子（デバイス充電用）
- ⑫ SET TIME（時刻設定）ボタン
- ⑬ AUX IN（オーディオ入力）端子
- ⑭ POWER（電源）端子
- ⑮ FM(FM アンテナ) 端子
- ⑯ バックアップ用電池収納部

ご使用前の準備

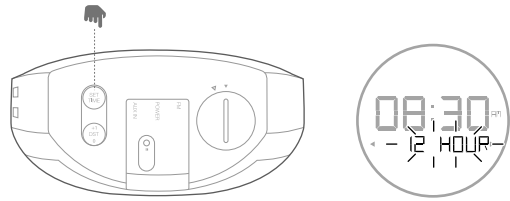
▶ 本機を接続する



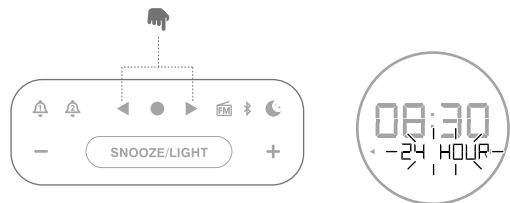
- ① 付属の FM アンテナを、本体底面の FM(FM アンテナ) 端子に接続する。
- ② 付属の AC 電源アダプタを、本体底面の POWER(電源) 端子に接続する。
- ③ AC アダプタを壁面のコンセントに接続する。

時刻設定を行う

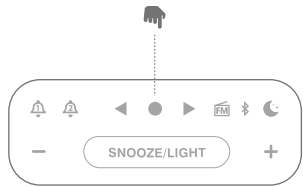
- ① SET TIME (時刻設定) ボタンを押す。



- ② 30 秒以内に ◀▶ ボタンを押して、12 時間表示 / 24 時間表示を切り換える。



- ③ 30 秒以内に ● ボタンを押す。



- ④ 手順②と③を繰り返して、「時」、「分」、「年」、「月」、「日」を設定して、● ボタンを押す。

各操作は 30 秒以内に行ってください。何も操作しない状態が 30 秒続くと、時計設定は取り消され、設定内容も保存されません。

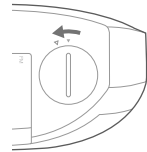
バックアップ用電池を入れておくことで、AC アダプタが抜かれている状態でもアラームやプリセットの情報が保存されます。電池の交換は、以下の手順で行います。
本機にはあらかじめ電池が入れています。お使いになる前に、絶縁フィルムを引き抜いてください。

電池を交換する際は、以下の手順で行います。

- ① 本体底面の電池ぶたを開く。
電池ぶたのくぼみをスライドさせ、電池ぶたを開いてください。

ご注意:

電池ぶたの破損の原因となりますので、先のとがったものは使わないでください。



- ② 新しい電池と交換する。
使用する電池は、CR2032 電池 1 個です。
- ③ 電池ぶたを閉める。
電池ぶたのくぼみをスライドさせ、電池ぶたを閉めます。

ご注意:

- 指定のリチウム電池 (CR2032) を正しく入れてください。逆に入れたり、確実に入っていないと発熱・変形・液漏れ・故障の原因になります。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。本機内で電池が液漏れを起こす場合があります。
- 万一液漏れが起こったときは、よくふき取って新しい電池を入れてください。
- 保証期限を過ぎた電池や、一部海外メーカーの電池を使用した場合、電池電圧が大きく変動するため、使用時間が極端に短くなったり、正常な動作をしなくなったりします。
- 不要となった電池の廃棄は、各自治体の指示 (条例) に従ってください。

基本操作

▶ 音量を調節する

音量 (+ / -) ボタンを押す。

▶ ディスプレイのオン / オフを切り換える

☾ (スリープ) ボタンを 2 秒以上押し続けると、ディスプレイが消灯します。本体上面のいずれかのボタンを押すと、再び点灯します。

▶ LED アンビエントライトのオン / オフを切り換える

SNOOZE/LIGHT ボタンを押す。

押すごとにオン / オフが切り換わります。

※ LED アンビエントライトはゆっくりと点灯 / 消灯します。

Bluetooth 機器の音声を聞く

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

▶ iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① Bluetooth ボタンを 2 秒以上押し続ける。
ディスプレイで「PAIRING...」と表示され、ペアリング設定状態になります。
- ② iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ③ デバイスから「JBL Horizon」を選択する。
デバイスに「接続されました」と表示され、ディスプレイの Bluetooth アイコンが点滅から点灯に変わると、ペアリングが完了します。

▶ その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① Bluetooth ボタンを 2 秒以上押し続ける。
ディスプレイで「PAIRING...」と表示され、ペアリング設定状態になります。
- ② 相手側機器をペアリング設定状態にする。
接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。
パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。
一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。
ディスプレイの Bluetooth アイコンが点滅から点灯に変わると、ペアリングが完了します。

本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、接続したい機器の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定する必要があります。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- ① iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- ② Bluetooth アイコンをタップする。
- ③ 「JBL Horizon」をタップする。



その他の機器で設定する

▶ 接続した機器で再生を始める。

接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

Bluetooth 接続中は、本体上面のボタンで以下のコントロールを行うことができます。

- : 再生 / 一時停止
- ◀ : 曲戻し
- ▶ : 曲送り

▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する

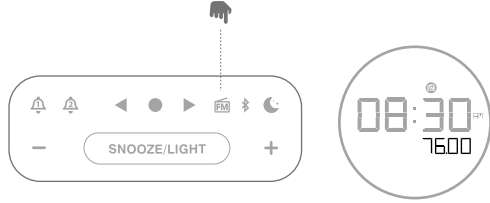
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オン」から「オフ」にします。

その他の機器で解除する

接続している機器を Bluetooth 設定状態にし、Bluetooth を「オフ」にします。

FM ラジオを聞く

- ① **FM** (FM) ボタンを押す。



放送局のスキャンが始まります。
放送局を受信すると自動的に止まります。
③ お好みの放送局を受信するまで手順②を繰り返す。
自動受信できなかった放送局を選びたい場合は、◀/▶ (選局) ボタンを繰り返し押ししてください。

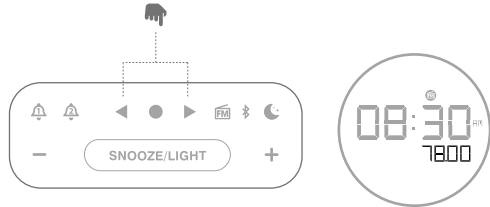
▶ 受信状態が悪いときは

アンテナを伸ばしたまま、アンテナの向きを変えてください。

▶ ラジオの受信を終了する

FM (FM) ボタンを押します。
Bluetooth ボタンを押してソースを Bluetooth に切り換えると、ラジオ受信は終了します。

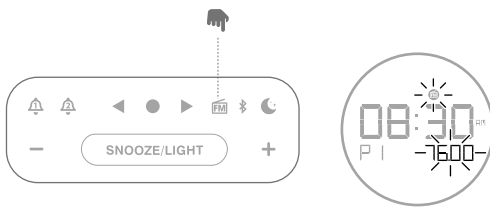
- ② ◀/▶ (選局) ボタンを 2 秒以上押し続ける。



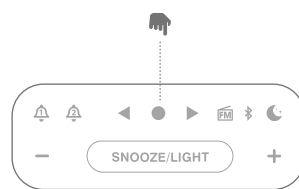
放送局を記憶させる (プリセット)

よく聴く放送局を 5 局まで記憶させることができます。

- ① **FM** (FM) ボタンを押してソースを FM ラジオに切り換える。
② ● (確認) ボタンを繰り返し押しして、記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
③ **FM** (FM) ボタンを 2 秒以上押し続ける。

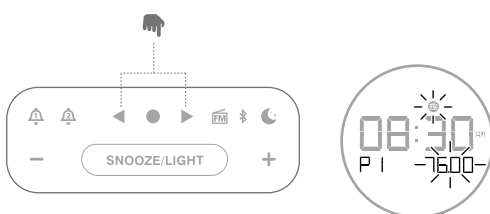


- ⑤ 30 秒以内に● (確認) ボタンを押す。



選んだ放送局が記憶されます。
選んだプリセット番号にすでに放送局が記憶されている場合は、新しいものに上書きされます。

- ④ 30 秒以内に◀/▶ (選局) ボタンを押して、記憶させたい放送局を受信する。



- ⑥ 手順②～⑤を繰り返し、希望の放送局を記憶させる。

▶ 記憶させた放送局を受信する

- ① **FM** (FM) ボタンを押してソースを FM ラジオに切り換える。
② ● (確認) ボタンを繰り返し押しして、聴きたい放送局のプリセット番号を選ぶ。



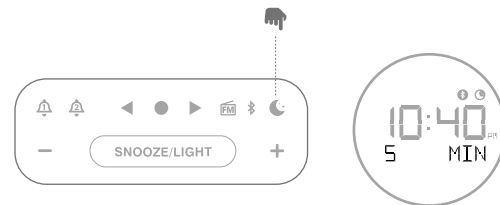
スリープタイマーを使用する

設定した時間 (5 分～90 分) が経過すると、自動的に電源がオフになります。

- ① ☾ (スリープ) ボタンを繰り返し押しして、電源がオフになるまでの時間を選ぶ。
以下の時間から選ぶことができます。

電源がオフになるまでの時間を確認する

☾ (スリープ) ボタンを押します。電源が切れるまでの時間が数秒間表示されます。



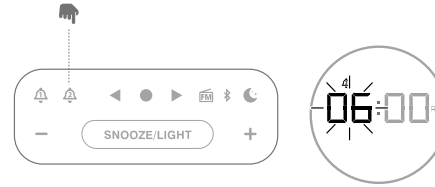
スリープタイマー動作中は、ディスプレイにスリープアイコン ☾ が表示されます。

アラームを使用する

アラームは 2 つの時刻を設定することができます。

- 各操作は 30 秒以内に行ってください。何も操作しない状態が 30 秒続くと、設定は取り消され、設定した内容も保存されません。

- ① **ALARM 1** (アラーム 1) または **ALARM 2** (アラーム 2) ボタンを 2 秒以上押し続ける。



アラーム設定モードに入ります。

- ② ◀/▶ ボタンを押して「時」を設定し、● ボタンを押す。
③ ◀/▶ ボタンを押して「分」を設定し、● ボタンを押す。
④ ◀/▶ ボタンを押してアラームを使用する日を設定し、● ボタンを押す。



WEEKDAY: 月～金曜日
WEEKEND: 土、日曜日
EVERYDAY: 毎日
ONE DAY: 設定後 1 回のみ

- ⑤ ◀/▶ ボタンを押してアラーム音を設定し、● ボタンを押す。



1-RIZE、2-SOLAR、3-GROOVE: 本機に内蔵されたメロディが再生されます。

BLUETOOTH: Bluetooth 接続した機器の音声再生されます。

FM RADIO: ラジオが再生されます。(プリセットした放送局のみ再生することができます。)

「FM RADIO」を選んだ場合、◀/▶ ボタンを押して、再生したいプリセット番号を選び、● ボタンを押して手順⑥に進んでください。

BUZZER: ブザー音が鳴ります。

- ⑥ ◀/▶ ボタンを押してアラーム起動時の LED アンビエントライトのオン/オフを設定し、● ボタンを押す。

アラームの設定が完了します。

「FM RADIO」を選んだ場合、**FM** (FM) ボタンを押して受信を終了します。

「BLUETOOTH」を選んだ場合、Bluetooth 機器とのペアリングを行ってください。

▶ アラームの設定内容を確認する

アラーム設定後、**ALARM 1** (アラーム 1)/**ALARM 2** (アラーム 2) ボタンを押すと、アラームが起動する時刻と日時の設定が数秒間表示されます。

▶ アラームを止める

アラームを止めるには、アラームが鳴っているときに以下のボタンを押します。

- ボタン
● SNOOZE/LIGHT ボタン

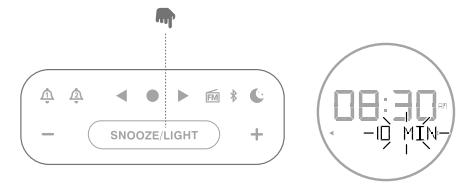
● ボタンを押したときはアラームがオフになり、次に設定された時刻になるまでアラームは鳴りません。

SNOOZE/LIGHT ボタンを押したときは、スヌーズ機能が働き、一度アラームは止まりますが、一定時間後に再び再生が始まります。スヌーズ機能を働かせる時間は変更することができます。以下の「スヌーズ機能の時間を設定する」を参照してください。

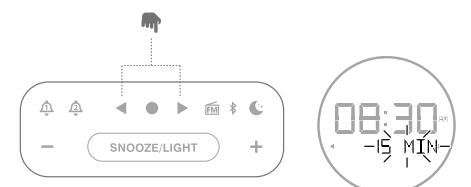
▶ スヌーズ機能の時間を設定する

SNOOZE/LIGHT ボタンを押してから、再びアラームが鳴るまでの時間 (1 分～30 分) を設定することができます。

- ① SNOOZE/LIGHT ボタンを 2 秒以上押し続ける。



- ② 30 秒以内に◀/▶ ボタンを押して時間を選び、● ボタンを押す。
1 分～30 分まで、1 分きざみで選ぶことができます。



- ③ ◀/▶ ボタンを押してスヌーズ機能を使用するアラーム設定を選び、● ボタンを押す。

ALARM 1: アラーム 1

ALARM 2: アラーム 2

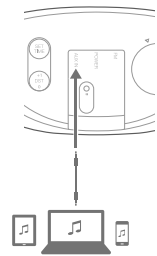
ALARM 1/2: アラーム 1 とアラーム 2

▶ アラーム機能をオフにする

ディスプレイからアラームアイコンが消灯するまで、**ALARM 1** (アラーム 1)/**ALARM 2** (アラーム 2) ボタンを繰り返し押しします。

アラームを再び有効にさせたいときは、ディスプレイに **ALARM 1** (アラーム 1)/**ALARM 2** (アラーム 2) アイコンが点灯するまで、**ALARM 1** (アラーム 1)/**ALARM 2** (アラーム 2) ボタンを繰り返し押ししてください。

オーディオ機器を接続する

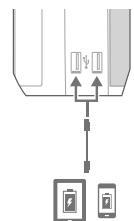


市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。

- ① 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル（市販）を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX IN（オーディオ入力）端子に接続する。
- ② オーディオ機器または PC で音声を再生する。
 - 他の機器と Bluetooth 接続している場合は、Bluetooth 接続が優先されます。オーディオケーブルを使って接続する場合、初めに Bluetooth 接続を解除してください。

その他の機能

▶ デバイスの充電を行う



本機は、側面に電力供給用の USB 端子を 2 基装備しています。

iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属しているケーブルが USB 接続に対応している場合、本機にデバイスを接続して充電することができます。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属しているケーブルを使って、本機とデバイスを接続する。充電が始まります。
 - 本機の USB 端子はデバイスの充電専用です。USB 端子にデバイスを接続しても、音を聞くことはできません。

トラブルシューティング

原因	解決法
音が出ない。	Bluetooth を使用している場合は、お手持ちの機器で正しく設定されていることをご確認ください。
	AUX IN（オーディオ入力）端子にオーディオ機器・PC を接続している場合、音量をご確認ください。
	iPhone/iPod/iPad の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
	音量を上げてください。
音が歪む。	音量が上がらずにいる場合は音量を下げてください。
ザーという音が出る。	アンテナが外れている、または電波が弱いのが原因です。アンテナを正しく接続してください。
ラジオ受信時に雑音が入る。	外部から雑音を拾っているのが原因です。アンテナの方向や位置を変えたり、テレビや蛍光灯などの電気製品から本機を離してみてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。
	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。別の機器と接続しているときは、Bluetooth アイコンが点灯します。ペアリングを行うためには、Bluetooth アイコンが点滅している必要があります。

主な仕様

定格出力	総合 10W (5W × 2)
Bluetooth	Bluetooth4.1
システム周波数特性	70Hz ~ 20kHz
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) (Ver. 1.2) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) (Ver. 1.0)
伝送距離	Class2 最大半径 10 m (障害なきこと)
FM 受信周波数帯域	76MHz - 108MHz (受信範囲は地域により異なります)
音声入力	Bluetooth 入力 × 1、 3.5mm ステレオミニ入力 × 1
電源	AC アダプタ (100V ~ 240V (50Hz / 60Hz))
外形寸法	幅 183 mm × 奥行 86 mm × 高さ 160 mm
質量	890 g (本体のみ)

*仕様および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club（ハーマンオーナーズクラブ）は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話（フィーチャーホン）からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

© 2015 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

011510000